

ごあいさつ

AGF鈴鹿は、コーヒーをはじめとする嗜好飲料の生産供給を通して、「ココロ」と「カラダ」の健康に貢献できる会社を目指しています。そのためには、AGF鈴鹿で働く従業員が健康に生産活動を行えることが前提となります。会社として従業員の「ココロ」と「カラダ」の健康増進施策を推進し、よりよい製品を大切につくり続け、地域・社会の皆様の健康づくりに貢献していきます。



AGF 鈴鹿株式会社
代表取締役社長 花井 賢

従業員の「ココロ」と「カラダ」の健康に向けて

私たちは、従業員が健康でいきいきと働ける職場づくりに取り組むことで、その人の持つ能力を十分に発揮し、お客様の『ココロ』と『カラダ』の健康、そして明日のよりよい生活に貢献できると考えています。



味の素グループ 健康宣言



Health and Well-Being Initiative

～ 味の素グループは、アミノサイエンス®で、人・社会・地球の Well-beingに貢献できるよう社員の健康維持・増進を支援します～

～ The Ajinomoto Group will support employees' health and well-being to contribute to the well-being of all human beings, our society and our planet with "AminoScience" ~

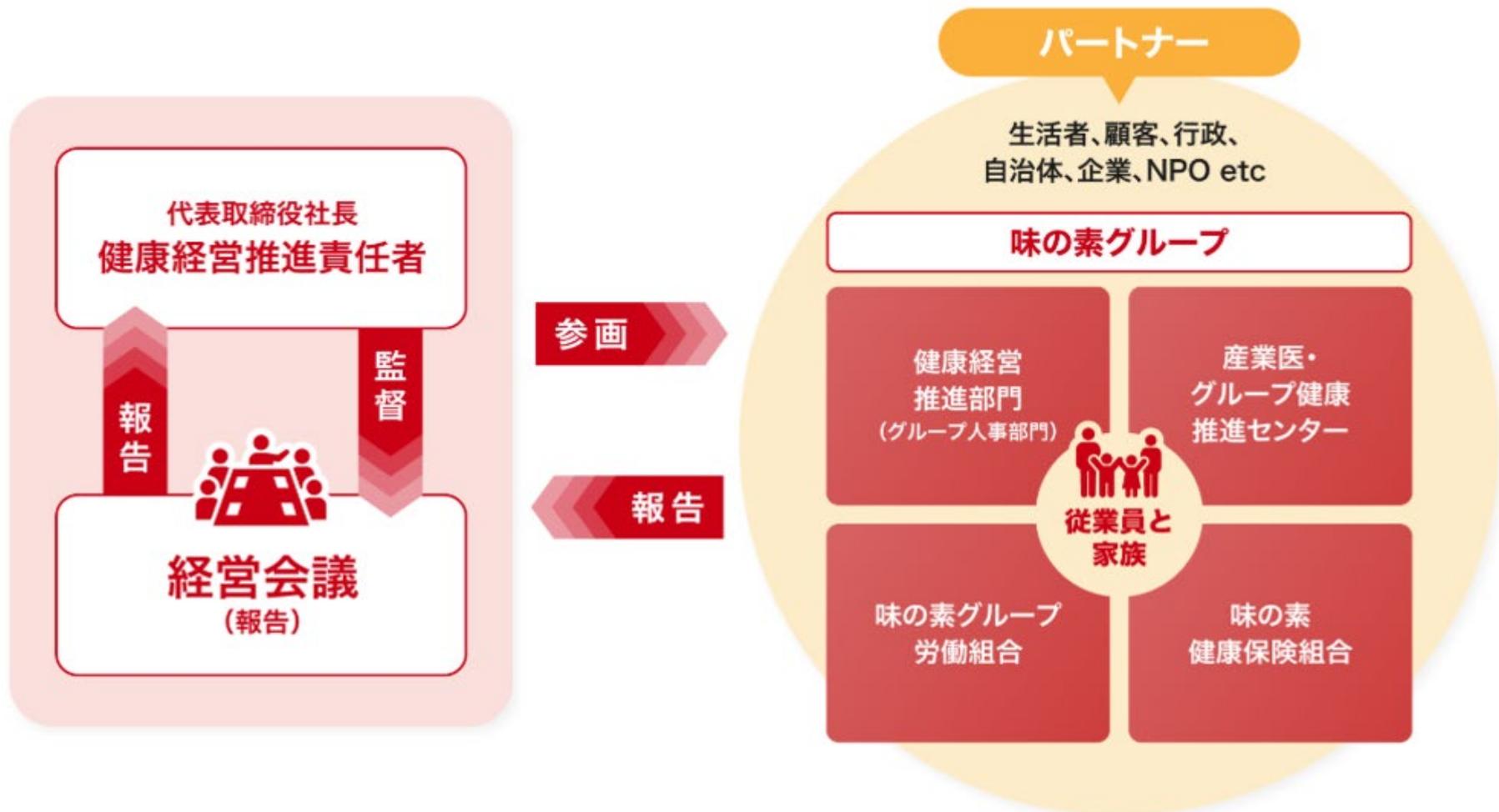
健康経営「目指す姿」

味の素グループで働いていると、セルフ・ケアが実践でき、自然に健康になる！！

会社は社員と家族の健康増進を支援します。その結果、社員と家族は「バランスの良い食事」「適度な運動」「良質な睡眠」を意識したセルフ・ケアが習慣化されます。自然と健康に対する意識・知識が高まれば、心身ともに健康な状態が維持・向上し、社員と家族のWell-beingや健康寿命の延伸につながっていきます。

健康経営推進体制

健康経営推進責任者である社長が出席する会議にて、健康経営に関わる方針や取り組みを定期的に協議しています。また、味の素グループ企業、健康保険組合、グループ健康促進センター、自治体など、社内外パートナーと連携し、「ココロ」と「カラダ」の健康増進につながる取り組みと環境づくりを推進しています。



健康経営戦略マップ

取り組みの全体像は下記のとおりです。

健康投資	健康投資効果			健康経営で解決したい健康課題
	取り組み状況に関する指標	従業員の意識変容・行動変容による指標	最終的な目標指数 達成期日：2030年度	
フィジカルヘルス ● 適正糖質セミナー ● 特定保健指導 若年層スリムアップサポート ● 単独健診 (各種がん検診、脳検査) ● ウォーキングイベント	実施回数の拡大	糖質有所見率の減少	ハイリスク者の減少 健康診断有所見率：50%以下	コーヒーをはじめとする嗜好飲料の生産・提供を通して“従業員の「ココロ」と「カラダ」の健康”と「すべての従業員が働き甲斐を感じる会社の実現」をめざし、そしてよりよい地域・人づくりの社会貢献をめざす
	参加者の増加	BMI有所見率の減少		
	受診数の増加	がん検診受診率の向上		
	参加者の増加	運動習慣のある社員数増加		
メンタルヘルス ● ストレスマネジメント対策 ● メンタル回復プログラム	教育参加者の増加	ストレス対象方法がわかり、行動ができる社員の増加	ハイリスク者の減少 高ストレス者率：8%以下	
	100%実施継続	就業継続率の向上		
ヘルスチェック ● 定期健康診断 ● ストレスチェック ● 全員面談、ヘルスサーベイ 健康状態可視化の仕組み ● 健康管理システムの活用 「My Health」	100%実施継続	自分の健康上の課題を理解し、行動している社員の増加	セルフケアができる社員の増加 セルフケア度：75%以上	
	利用率の向上		生産性の向上 ・プレゼンティーズム：95%以上 ・アブセンティーズム：2日以下	
環境健康資源の構築・整備 ● 健康宣言の具体化 ● 組織体制・制度 ● 働きやすい職場環境づくり ● 健康・栄養教育	「味の素グループで働いていると自然に健康になる」状態を実現する環境・体制整備	今後1年間、健康に役に立つ行動をとろうと思っている社員数の増加	エンゲージメントの向上 ・ウェルビーイング：75Pt以上	
	受講者数の増加			
			重要目標達成指標 持続可能なエンゲージメント：75Pt以上 達成期日：2030年度	

健康経営の取組結果



4年連続で健康経営優良法人の認定を頂いています。
健康経営「戦略マップ」にそって、健康投資結果として

- (1)最終目標指標
- (2)意識・行動変容指標
- (3)取り組み状況指標

で評価します。

(1)最終目標指標

		単位	2021年	2022年	2023年	2024年
1	ES 持続可能なエンゲージメント	Pt	62	63	64	70
2	ES ウェルビーイング	Pt	62	68	66	68
3	健康診断有所見者率_3指標計	%	73	65	69	61
	BMI	%	24	24	24	26
	血糖	%	66	54	62	48
	血圧	%	15	11	12	14
4	セルフケア度	%	66	66	67	68
5	高ストレス者率	%	9.4	9.1	8.7	9.8
6	プレゼンティーズム	%	93	94	94	95
7	アブセンティーズム	日/年	2.1	2.2	2.7	3.0

1,2 グローバルで展開されているエンゲージメントサーベイで把握

BMI:25以上、血圧:下90以上または上140以上、血糖:空腹時血糖100以上またはHbA1c値5.6以上

4 ストレスチェックで把握自己健康管理能力を向上させ、こころとからだの健康を向上できることを問診により評価する独自の指標
100点満点で評価。高いほど良い

6 仕事のパフォーマンスの指標(0~100点の高い方がパフォーマンスが良い状態),WHO-HPQで把握

7 71年間の中での病欠による休業日数の指標。独自アンケートで把握55

(2)意識・行動変容指標

		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1	喫煙率	%	23.3	22.9	23.8	25.3
2	特定保健指導対象者率	%	15.4	15.4	13.8	15.0
3	メンタルヘルス休業率	%	1.0	0.8	0.8	0.5
4	総実労働時間	時間/年	1860	1836	1848	1844
5	所定外労働時間	時間/年	144	156	168	163
6	年次有給休暇取得日数	日/年	14.0	15.7	16.6	16.3
7	年次有給休暇取得率	%	71	81	87	87

- 1 健康診断時の問診により把握
- 2 40歳以上の対象者を分母として算出

(3)取り組み状況指標

		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1	定期健康診断受診率	%	100	100	100	100
2	ストレスチェックの実施率	%	100	100	100	100
3	全員面談/ヘルスサーベイの実施率	%	100	100	100	100
4	メンタル回復プログラムの実施率	%	-	100	100	100
5	適正糖質セミナー参加者数	人	-	12	21	21
6	ウォーキングイベント参加者数	人	74	40	25	42

主な取り組み

従業員が、セルフケアができるようにメンタル/フィジカル両面での取り組みを行っています。

メンタルヘルスケア

項目	施策
セルフケア度の向上	保健師による全員面談
	セルフケア問診
	産業医面談
高リスク者への早期対応	長時間労働者フォロー
	ストレスチェック
休業者の再発防止	メンタル回復プログラム

フィジカルヘルスケア

項目	施策
未病対策	保健師による全員面談
	セルフケア問診
	産業医面談
	健康診断
	特定保健指導
	がん検診受診率UP
食事	適正糖質セミナー
運動	ウォーキングイベント

風土・制度・設備面で、働きやすい職場環境づくりを進めています。
 また、地域住民の皆さまの健康づくりに貢献できるような取り組みも実施しております。

項目	施策
働きやすい職場環境づくり	SUZUKAオープン化プロジェクト
	女性が働きやすい職場づくりプロジェクト ピリオイド生理痛体験セミナー
	食堂、休憩室の改善
地域住民の皆さまの健康づくりへの貢献	運動施設のネーミングライツ
	自治体健康イベントの支援
	工場開放Day!



イメージ図



イメージ図

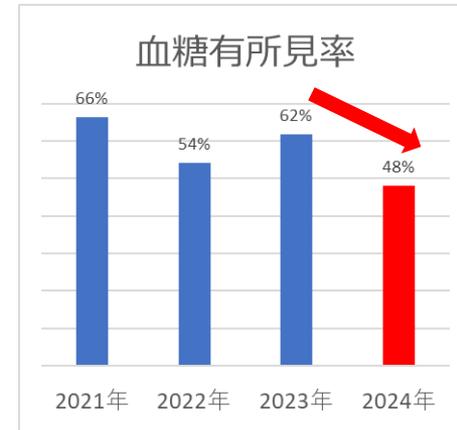


取り組み事例 適正糖質セミナー

適正糖質セミナー実施後、健康診断の直前に再度フォロー追加実施することにより、2024年度は有所見者は大幅に改善しました。

2023年度 : 適性糖質セミナー実施するも、有所見率は改善せず

2024年度 : 健康診断直前の1週間のフォローを追加、受講者の50%が改善



2024年度適正糖質セミナー

参加21名

参加者の食後血糖平均値 (食後1時間)

171mg/dl (2023年度参加者平均170mg/dl)

基準値 : 125~150

参加者のコメントご紹介 (アンケート等より)

<今後の取組内容と感想>

<参加者の目標 (7月健診に向けて)>

- ・食後10~15分以内の運動を心掛け食後歯磨きの時にスクワットをしています
- ・ご飯を茶碗半分にし、おかずを1品増やす
- ・カーボラストでご飯は最後に食べる
- ・前回食後血糖値 222

- 健診までに
- ・HbA1c5.5%以下と血糖値90代にする (正常範囲内)
- ・体重減量 (3~5kg)

今回食後血糖値 169
改善していたのがうれしかったです!

- ①参加者への事後フォロー4~6月
- ・血糖測定のご案内
- ・適正糖質1weekチャレンジ

ルール2
食材を加えて低栄養を防ぐ!

おかずを1品増やしてみましょう
(たんぱく質、脂質、食物繊維)

50% OFF

ルール3

2.2024年度活動報告 新規導入 健診結果改善対策 (4~6月)

2023年度健診結果 HbA1c 『異常なし→軽度』対象30名に
適正糖質 1WEEKチャレンジにてフォローメールを健診直前まで毎月実施

<一例>

適正糖質 1WEEKチャレンジ*

低糖質な食品を味方につけよう! 編

満腹感重視派は
ロカボ主食への置き換え!

1食あたり20~30gの糖質をカット*

冷蔵庫にストックすべき
心強い味方はこれだ!

手間なく小腹を満たせる&
食事のかさ増しができるものを!

甘党のアナタにとって
諦める必要ナシ!

間食は、1日あたり
糖質10gまでなら堂々と!

千重の道も一歩から。「これならできそう!」と思ったものを、まずは一週間続けてみましょう!

目的

対象者の意識づけおよび生活習慣改善の
動機づけの一助として実施。

HbA1cは1~2ヶ月間の血糖の平均である。
3ヶ月間の生活習慣改善により血糖コントロールの改善ができる。

効果

対象30名中 15名改善
2024年度健診結果「異常なし」

参考)

2023年度 軽度126名→2024年度 軽度82名



セミナー実施費用 : 2千円/年
講師は社内保健師